

様式1

令和5年度 学校評価表

心豊かにたくましく 共に学び伸びる「けやきっ子」の育成

尾道市立御調中央小学校

a ミッション		b 中期経営目標										c 短期経営目標			d 目標達成のための方策		e 評価指標		f 担当		g 目標値		h 達成度		i 評価		j 結果と課題の説明			k 二次評価			l コメント	m 改善案
a ミッション		b 中期経営目標										c 短期経営目標			d 目標達成のための方策		e 評価指標		f 担当		g 目標値		h 達成度		i 評価		j 結果と課題の説明			k 二次評価			l コメント	m 改善案
a ミッション		b 中期経営目標										c 短期経営目標			d 目標達成のための方策		e 評価指標		f 担当		g 目標値		h 達成度		i 評価		j 結果と課題の説明			k 二次評価			l コメント	m 改善案
<p>・地域の教育力を生かした御調プライドを醸成する教育の推進</p>																																		
<p>aビジョン ○進んで学習し、きまりを守って秩序ある学校 ○すべての児童が生き生きと活動する学校 ○思いやりと感謝の心を持ち、進んで奉仕する姿があふれる学校 ○教職員が育ち、その実践によって児童や保護者・地域の方々に信頼される学校</p>																																		
<p>確かな学力の育成</p>	<p>未来につながる基礎的な学力の育成</p>	<p>自ら考え、論理的に表現することのできる児童の育成</p>	<p>○既習内容の着実な定着 ・ドリルタイムや家庭学習での復習による基礎学力の定着</p>		<p>国語・算数の単元末テスト（知技・忠判）平均点</p>		<p>教務</p>	<p>70</p>	<p>7月 国語 83.8%</p>	<p>1月 国語 85.1%</p>	<p>119%</p>	<p>A</p>	<p>2学期末までの単元末テストの平均点は国語85.1点、算数81.9点であった。どの学年も目標値は達成することができたが、基礎学力の定着において個人差が大きく、目標値に達していない児童への継続した個別の指導と支援が必要である。</p>			<p>3</p>	<p>1</p>	<p>・学力の個人差が大きいとのことで補充の時間や個別指導の時間の設定を工夫することを期待する。 ・来年度は低学年の目標値設定を学年に応じたものにしてほしい。 ・児童への個別の指導と支援をどのように取りまわすかが大切である。毎年同じ課題になっていてはいいない。 ・継続的に振り返りし、基礎学力の定着を図ってほしい。 ・来年度は時間割の工夫など「学力補充の時間をつくる」といった具体的な話があったのでよかった。</p>			<p>・単元末テストの目標値については、学年に応じて目標値を設定し、達成した児童の割合を評価の指標とする。 ・個別指導や学力補充の時間を確保するために、時間割の工夫を行う。 ・単元末テストで点数が低い児童には再テストを行うなど、学力の積み上げをしていく。</p>													
			<p>○対話を取り入れた授業づくり ・自分の考えをもち、伝える力の育成 ・相手の話をしっかり聴く力の育成 ・対話を通して自らの考えを深める授業づくり</p>		<p>自分の考えを積極的に相手に伝えようとする児童の割合（アンケート）</p>				<p>研究</p>	<p>80</p>			<p>伝える 81.8%</p>	<p>（児童） 伝える 82.5%</p>	<p>聴く 89.8%</p>			<p>108%</p>	<p>A</p>	<p>12月に行った児童アンケートの結果、肯定的に答えた児童の割合は、共に目標値を達成し、前回より数値も向上した。しかしながら、教師の見取りによる評価は、児童よりも低く、特に「聴く」については10%以上のギャップが見られた。年度初めに設定した「話し方名人」「聴き方名人」の目標を担任と児童で再確認し、それに沿って特に聴き方の指導を重点的に行っていく。</p>			<p>2</p>	<p>2</p>	<p>・児童アンケートのみの達成度では適正とは思えない。指導者評価とのギャップに対してどう考えていけばよいかという点で「適正でない」に評価した。 ・伝え合う、聞き合うという点での授業を深めてほしい。 ・「話す」「聞く」はとても大切であり、基礎学力の定着と関連がある。教師の見取りによる評価を重んじて取り組んでほしい。授業の評価指標もいるのではない。 ・「話す＝伝える」気持ちがないと伝わらない。みんなで聞くことも重要である。 ・ギャップを埋めるべく「聴き方名人」の目標達成に向け取り組んでほしい。</p>									
			<p>○挨拶の徹底 ・レベル3の挨拶 ・授業で挨拶の徹底 ○自己有用感の育成</p>		<p>・挨拶ができた児童の割合 ・自分は人の役に立っていると感じている児童の割合（居心地点検でのアンケート・教職員チェック）</p>		<p>生徒指導</p>	<p>100</p>			<p>91%</p>	<p>92.4%</p>	<p>92.4%</p>	<p>92.4%</p>	<p>B</p>	<p>児童アンケートでは、挨拶ができた児童の割合は92.4%、自分は人の役に立っていると感じている児童の割合は92%であった。挨拶をするよさについては児童の中に浸透しているが、自分から挨拶することに課題がある児童もいる。引き続き挨拶することのよさを学級や児童会活動等で考えていきながら全員が自分から挨拶できるようにしていく。各学級で自己有用感を育むことはできた。引き続き児童に寄り添った指導を行っていく。</p>				<p>3</p>		<p>1</p>			<p>・児童一人一人を励ましたり、良いところをほめたり、「ありがとう」の声掛けをしたりすることの積み重ねが大事だと感じた。 ・よく挨拶ができていた。 ・「挨拶に課題のある児童は人とかかわりができにくい」ということから考えてみてはどうか。教職員から挨拶することも大切である。 ・話し方の一歩は挨拶である。声の小さい子も意識してほしい。 ・中学校のように人の役に立っていると感じる割合は学年が上がることに高くなる傾向にあるのか。</p>									
<p>○体育的な行事、体育科の授業（体育カードの使用）、休憩時間等の運動機会の充実 ・なわとび ○運動習慣の形成</p>		<p>・自分の決めた目標に取り組み達成できた児童の割合 ・友達と関わり合いながら取り組むことができた児童の割合（アンケート）</p>		<p>保健安全</p>	<p>90</p>	<p>85%</p>			<p>94%</p>	<p>95%</p>	<p>94%</p>	<p>B</p>	<p>2学期の体育の学習に関するアンケートをとったところ、自分の決めた目標に向かって活動に取り組むことができた児童の割合は、1学期と比較すると9%増加した。友達と関わり合いながら取り組むことができた児童の割合は10%増加し、児童らに友達と関わり合いながら学習する習慣が身につけてきた。しかし、特定の児童はどちらとも否定的な回答が多く、体育に対する苦手意識や個に応じた場の設定など指導に工夫をする必要があると考えられる。</p>			<p>4</p>	<p>1</p>	<p>・引き続き工夫した指導をしてほしい。 ・自分の決めた目標に向かって取り組み、成果が児童自身にわかるようになってきたことは良い。運動は個の取り組み（伸び）を大切にしてほしい。 ・運動が遊びになればよい。体を動かす事は楽しいと知ってほしい。 ・運動会のある1学期よりも数値が伸びているのはよい傾向である。</p>																
<p>豊かな心と体の育成</p>	<p>人とのつながり、関わりを大切に、健康的に生きていく力の育成</p>	<p>規範意識の育成</p>	<p>○挨拶の徹底 ・レベル3の挨拶 ・授業で挨拶の徹底 ○自己有用感の育成</p>			<p>・自分の決めた目標に取り組み達成できた児童の割合 ・友達と関わり合いながら取り組むことができた児童の割合（アンケート）</p>		<p>保健安全</p>	<p>90</p>	<p>85%</p>			<p>94%</p>	<p>95%</p>	<p>94%</p>			<p>B</p>	<p>2学期の体育の学習に関するアンケートをとったところ、自分の決めた目標に向かって活動に取り組むことができた児童の割合は、1学期と比較すると9%増加した。友達と関わり合いながら取り組むことができた児童の割合は10%増加し、児童らに友達と関わり合いながら学習する習慣が身につけてきた。しかし、特定の児童はどちらとも否定的な回答が多く、体育に対する苦手意識や個に応じた場の設定など指導に工夫をする必要があると考えられる。</p>			<p>3</p>	<p>1</p>	<p>・児童一人一人を励ましたり、良いところをほめたり、「ありがとう」の声掛けをしたりすることの積み重ねが大事だと感じた。 ・よく挨拶ができていた。 ・「挨拶に課題のある児童は人とかかわりができにくい」ということから考えてみてはどうか。教職員から挨拶することも大切である。 ・話し方の一歩は挨拶である。声の小さい子も意識してほしい。 ・中学校のように人の役に立っていると感じる割合は学年が上がることに高くなる傾向にあるのか。</p>										
			<p>地域と共に歩む学校</p>	<p>ふるさと御調に愛着をもち、未来の担い手となる児童の育成</p>	<p>地域からの学びを自分の生き方とつなげる児童の育成</p>	<p>○地域理解や地域への愛情を育む教育活動の充実 ・地域のよさを実感させる学習の実施 ・ゲストティーチャーを活用した授業づくり</p>				<p>地域とかかわる学習についての肯定的評価（学習後児童アンケート）</p>		<p>教務研究</p>	<p>90</p>	<p>71%</p>		<p>100%</p>	<p>100%</p>		<p>A</p>	<p>地域の公民館等と交流を行った全学年の児童が、地域とかかわる学習についてのアンケートで肯定的評価をした。今後も目的を明確にして内容のある交流を計画する。 11月には全校で地域貢献活動に参加し、地域・保護者・中高生とともに清掃活動を行うことができた。また、全学級でゲストティーチャーを活用した道徳の授業を実施した。</p>				<p>2</p>	<p>1</p>	<p>1</p>	<p>・地域の人材の情報収集をし、地域とのつながりを更につくり、授業や体験に活用してほしい。 ・活動だけでは地域の良さを実感できたという評価とはならない。地域の方への実施後のアンケート等を工夫してみてもどうか。御調に愛着を持つとはどういうことかを考えたアンケートの実施をしてほしい。地域の方との交流の仕方や地域の方々による学校支援を自分達も考えたい。 ・地域を生かした取り組みができていないのか、もう一度見直すことがあるのではないかと。 ・御調地域に残る児童を増やしてほしい。 ・地域に恩返しをする意味でも、地域の行事に参加してほしい。各地区長に依頼してみてもよいと思う。 ・児童が関心のある分野に詳しい方を講師に招けるようにしたい。</p>							
<p>○地域理解や地域への愛情を育む教育活動の充実 ・地域のよさを実感させる学習の実施 ・ゲストティーチャーを活用した授業づくり</p>		<p>地域とかかわる学習についての肯定的評価（学習後児童アンケート）</p>				<p>教務研究</p>	<p>90</p>	<p>71%</p>	<p>100%</p>	<p>100%</p>	<p>A</p>			<p>地域の公民館等と交流を行った全学年の児童が、地域とかかわる学習についてのアンケートで肯定的評価をした。今後も目的を明確にして内容のある交流を計画する。 11月には全校で地域貢献活動に参加し、地域・保護者・中高生とともに清掃活動を行うことができた。また、全学級でゲストティーチャーを活用した道徳の授業を実施した。</p>			<p>2</p>	<p>1</p>		<p>1</p>	<p>・地域の人材の情報収集をし、地域とのつながりを更につくり、授業や体験に活用してほしい。 ・活動だけでは地域の良さを実感できたという評価とはならない。地域の方への実施後のアンケート等を工夫してみてもどうか。御調に愛着を持つとはどういうことかを考えたアンケートの実施をしてほしい。地域の方との交流の仕方や地域の方々による学校支援を自分達も考えたい。 ・地域を生かした取り組みができていないのか、もう一度見直すことがあるのではないかと。 ・御調地域に残る児童を増やしてほしい。 ・地域に恩返しをする意味でも、地域の行事に参加してほしい。各地区長に依頼してみてもよいと思う。 ・児童が関心のある分野に詳しい方を講師に招けるようにしたい。</p>													

【自己評価 評価】
 A：100≦（目標達成）
 C：60≦（もう少し）<80
 B：80≦（ほぼ達成）<100
 D：（できていない）<60
 【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。